

2023年度
(令和5)

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
－ 活動報告書 －
REPORT



認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者 理事長 磯田憲一

理事 12名

監事 2名

スタッフ 12名 (うち常勤6名)

沿革

平成17(2005)年4月 設立総会

平成17(2005)年8月 NPO法人認証

平成18(2006)年4月 指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託

平成19(2007)年4月 カフェアルテ、ストウディオアルテ(体験工房)オープン、運営受託

平成19(2007)年4月 第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催

平成21(2009)年10月 北海道新聞北のみらい奨励賞受賞

平成22(2010)年1月 平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞

平成22(2010)年4月 アルテ市民ポポロ制度発足

平成25(2013)年2月 北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞受賞

平成26(2014)年2月 認定NPO法人に認定される

平成30(2018)年1月 第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」受賞

平成31(2019)年1月 認定NPO法人の有効期間更新

令和6(2024)年1月 認定NPO法人の有効期間更新

美唄の炭鉱に生きた人々の記憶が染み込む地の小学校跡に開設された芸術文化交流施設「アルテピアッツァ美唄」は、自然と彫刻が調和する空間として、多くの人たちの思いを受け止めながら新たな時を重ねてきました。

木造校舎や旧体育館が美唄市により文化財指定され、数年かけた老朽化対策の改修工事が現在進められています。NPO法人アルテピアッツァびばいは、指定管理者として、炭鉱の記憶と安田侃氏の彫刻、そしてこの場を居場所とする子どもたちの歓声が織りなす風景や空間の維持につとめてまいりました。これまでのさまざまなご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。

これまでもまして、このかけがえのない空間を守り、公共空間としての意味と役割を発信し、『こころのふるさと』として次世代につなげていきたいと考えております。皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 磯田憲一



寄附ご支援のお願い

いただいたご寄附は、管理運営のために大切に使用させていただきます。

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄は、「誰もがこころを広げられる芸術広場」を理念として入場料は設定していませんが、皆さまからのご寄附を管理運営費に充てています。このかけがえのない空間をゆるぎなく次代に伝えていくために、広く皆さまからのご支援をお願い申し上げます。



WEB決済



決済ページ(シンカブル)



郵便振替

郵便局に備え付けの「払込取扱票」で寄附が可能です。
※アルテ市民ポポロの方は市民会費払込の際に合算しての寄附もできます

郵便振替口座	02740-3-63900
加入者名	特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい
※通信欄には「寄附」とご記入ください。	

銀行振込をご希望の方は事務局までお問い合わせください

その他、直接
お越しの際は、

寄附箱



手渡し



<認定NPO法人への寄附金は確定申告で寄附金控除の対象となります。>

4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3

4/22, 23 春のクリーン会（折れ枝集め）
4/26-5/15 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄企画展「思い出の炭鉱写真展」

6/10 イタリアプリマドンナ ドナータ・ダンヌンツィオ・ロンバルディ 来日公開レッスン in アルテピアッツァ
6/18 ポポロミーティング
6/20- 改装工事のためギャラリー（木造校舎2階）閉鎖
6/23-25 ころころキャンドルづくり

7/28 中村桂子 いのち愛づる生命誌講座（その2）「あなたが生きものであることを学ぶ農業」
8/12-16 炭山（ヤマ）の記憶展
8/12 炭鉱映像館
8/13 アルテの盆踊り
8/25-10/5 イタリア・ボローニャからのインターン生（ジュリア・バンビーニさん）受け入れ
8/26 ジュニアサマーコンサートinアルテピアッツァ美唄
8/27 第20回アルテ〇〇の学校 白樺
9/16 美唄市社会福祉協議会主催「ふれあい祭り」に参加
9/18- カフェアルテ、ストゥディオアルテの補修工事開始

10/1 2024年カレンダー販売開始
10/29 秋のポポロウォーキング

12/21- ギャラリー（木造校舎2階）再開
12/23 大雪警報が発令され、15時で臨時閉館

2/12 ポポロサロン
2/7-12 アーカイブ資料公開

3/23, 24 小学生のための「こころを彫る授業」



○一年を振り返って



2023年度は6月から12月にかけて木造校舎改修工事が行われました。約6か月間、グッズ売り場やスタッフ在中場所は駐車場横に置かれたプレハブだったため工事期間中に来館して下さったお客様からは木造校舎内に入ることが出来ず残念がる声を多くいただきました。そんな中でも、夏休みや紅葉の季節にはたくさんのお客様に来館していただきました。

お盆には盆踊りを開催。たくさんのご家族連れが足を運んでくれました。特に子ども盆踊りではたくさんのお子どもたちが踊りの輪に入り元気に踊る姿は見ていた人を笑顔にさせてくれました。新型コロナウイルス感染症拡大時期には控えていた綿菓子や、トウモロコシの販売も行い、長い時間盆踊りを楽しんでいく方が多かったように思います。

10月には秋のポポロウォーキングを開催。お天気にも恵まれ気持ちの良い気温の中でアルテピアッツァ内や林道を散策しました。子ども達はカエルやトカゲなどの小さな生き物に目を輝かせていて、大人は赤や黄色に美しく色づいた紅葉を楽しみ、森の香りを胸いっぱい吸い込みました。野外美術館だからこそできる彫刻と変わり続ける自然との調和を感じながらの散策は参加したお客様に喜んでいただくことが出来ました。

日本だけでなく海外からのお客様も多くなり英語表記での看板の作成やご案内などについてもスタッフ同士で勉強を重ねました。

この一年は、コロナに関する規制が緩み、感染予防の為に控えていた多くの事を再開することが出来ました。2024年度もたくさんのお客様に来館していただきアルテピアッツァ美唄を楽しんでいただければと思います。

アルテピアッツァ美唄を守る

○施設および環境の維持・管理・保全



アルテピアッツァ美唄では、毎朝作品の状態をチェックし、清掃をしています。また、来訪者が安心安全に散策できるように、広場や森林の状態も確認し、広場の草刈りや倒木処理など適宜作業しています。毎週土曜日には「クリーン会」として、ボランティアの皆さんと一緒に広場をきれいに保つ活動を行いました。「水の広場」は月2回ほど水を抜いて、敷き詰められた石の上下を返しながら清掃しました。その他、屋外に置かれた彫刻は定期的に作品に合わせた保護コーティング作業をしています。

今年度は、設置者である美唄市により、木造校舎の大規模な改修工事が実施されました。また、市予算整備としてカフェアルテの屋根と外壁、ストゥディオアルテの床の塗装も行われました。

12月には集中的な大雪に悩まされました。12月23日には、降り続く雪に除雪が追い付かず、来訪者とスタッフの安全が確保できないと判断し、急遽15時に閉館としました。

地元企業の広瀬建設工業株式会社様の地域貢献事業として、山の斜面にあるブロンズ作

品「天聖」「天汰」の足元の土が流れて崩れないように排水溝の整備をしていただきました。



○来訪者やお客様への対応

2023(令和5)年度は、昨年度と同じくらの約2万3000名のお客様がいらっしゃいました。改修中の木造校舎に入れず、「残念」という声も多く聞きましたが、事情を説明すると「ではまた来ますね」と答えてくださる方ばかりだったのが救いでした。美唄市内の学校の校

外授業や幼稚園、保育園の遠足としての来訪、1月、2月には、雪の少ない国からのツアーも多かったです。

毎週土曜日のガイドツアー(予約不要/無料)の他、アルテピアッツァ美唄スタッフによるガイドツアー(要予約/有料)は18件ありまし

た。どちらのツアーも、お客様と会話しながらご希望に合わせてご案内することを心がけ、ご好評いただきました。ガイド料に加えて、ご寄附をいただくことも多く、貴重な収入源のひとつとなりつつあります。

○コンサート・イベント・展覧会



安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄のアートスペース(旧体育館)とギャラリー(木造校舎2階)は、それぞれ貸しスペースとしてもご利用いただいています。今年度は、6月20日から12月20日まで木造校舎を閉鎖したため、ギャラリーの利用は、12月以

降に美唄市内中学校や小学校の作品展を3件のみ開催しました。

アートスペースでは18件、国際的に活動するアーティストによるコンサートや地元ピアノ教室の発表会など幅広くご利用いただきました。

○彫刻修復事業

今年度は、北海道立近代美術館正面玄関に設置されているブロンズ作品「無何有」の修復を行いました。作家監修のもと設置後初めての大掛かりな修復となりましたが、彫刻に再び息を吹き込むようなその仕上がりには多くの方に喜んでいただいているとの声も届いています。その他、イタリアからのインターンであるジュリア・バンビーニさん(文化財修復士)とともに、札幌・知事公館「意心帰」、東川町立東川小学校「帰門」、岩見沢市東山公園「天秘」「天秘」の計4点のメンテナンスを行い、彫刻の表面に蓄積した汚れの除去、欠損部の補修、作品の素材に配慮した保護剤の塗布をした他、今後の定期的なメンテナンスのご提案をしました。



○広報制作委託

美唄市美唄デザイン課からの依頼でチラシなどの広報物の制作をいくつか行いました。美唄市の「企業版ふるさと納税」パンフレットのリニューアル発行や美唄市の地域おこし協力隊の「令和5年度パネル展」の看板などの制作をしました。

アルテピアッツァ美唄を楽しむ

○企画展

多くの来訪者がお越しくださるGWに、アルテピアッツァ美唄を紹介する企画展を開催していますが、2023年度は改修工事に伴い6月21日からギャラリー閉館が決まっていたため、毎年8月に開催している「思い出の炭鉱写真展」を春に開催いたしました。思い出を書くための大きな地図

「思い出地図」は、当時の思い出を孫が聞いて、書いて、貼ってくれる、そんな時間に出合うことも多いです。改めて、人のぬくもりが残る教室だからこそ出来る展覧会であることを実感しています。会期中の来館者数は2,818人でした。



○次なるステップへ事業



地域を超えた子どもたちの活動の場としての活用として、札幌芸術の森を拠点に活動する「札幌ジュニアジャズスクール」の小学生クラスと美唄市内の2つのスクールバンドによる合同サマーコンサートを開催しました。延べ180名にご参加いただき、出演した子どもたちは、吹奏楽とジャズ、それぞれの演奏にお互いに刺激を受けていたようでした。

また、アルテピアッツァ美唄で過ごした栄幼稚園卒業生(高校2年生2名、高校3年生1名)にインタビューを行いました。「のびのび育ててもらった環境は貴重だった」「年間を通して楽しい思い出がある」など、当時の記憶や今思うことなどを伺いました。貴重な記録とすると同時にこれからの活動に活かしたいと思います。

○体験工房スタジオアルテの活用（「こころを彫る授業」「アルテ〇〇の学校」など）

2023年度も、毎月「こころを彫る授業」を開催しました。今年度新たに参加した方は約40名で、北海道内のほか、東京、横浜、大阪、福岡、沖縄など、遠方から参加される方も多かったです。

「小学生のための『こころを彫る授業』」は前年度同様、時間を短縮し、半日のプログラムにしました。2日間で美唄市内外の小学1年生から4年生までの計11名の小学生が参加しました。「散策の時間」では、好きな彫刻を選んで紹介し合ったり、「目を開けて触ると、目を閉じて触ってみると違う」「卵の周りのざらざらが面白い」な

どと彫刻に触れてみた感想を言ってもらったりしました。

「誰もが参加できる小さな発見の場」というコンセプトのもと、不定期に開催している「アルテ〇〇の学校」を2021年以来、久しぶりに開催しました。テーマは「白樺」で、北海道立総合研究機構林業試験場の内山和子さんを講師にお迎えし、18名の方にご参加いただきました。アルテピアッツァ美唄の広場へ出て白樺を観察してみたり、樹皮を使ったオーナメントを作成したりと、学びの多い2時間でした。



○アルテ文庫

ギャラリーに設置している、安田侃さんセレクトの書籍が並ぶ「アルテ文庫」。いただいたご寄附より、安田侃さんが書籍を購入し、本棚が充実していきます。

2023年度は新たに4冊が加わりました。紹介カードも充実させたいと思っている次第です。



○情報発信

今年度は木造校舎改修について、訪れる前に知っていただくこと、正確な情報を適切な表現でお伝えすることが課題でした。旅行会社、ギャラリー利用希望者、市民の皆さんなど、対象を考えながら、その都度タイミングや方法を検討し発信をし、大きな問題はありませんでした。その他、ブログやSNSを活用して、「アルテの日々」をお伝えすることも続けています。

7月には、本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)が主催する「彫美連続講座2023」にてアルテピアッツァ美唄のことをお話する機会をいただき、オンライン参加含む100名を超える皆さんにご参加いただきました。

○アーカイブ活動

2月「アーカイブ公開」では、年ごとにテーマを設けて集めた資料をご紹介していましたが、今年度から「初めまして」の方にもアルテピアッツァ美唄がどんなふうに創られ続けているかを知っていただく機会にしたいと、これまでの歩みを広くご紹介しました。6日間の会期で延べ47名にご覧いただきました。

アルテピアッツァ美唄オープンから30年の月日が経ちました。この場所に重ねられた大切な「思い」を後世にどう伝えていくか、どのように残していくか、検討を進めています。オープン当時を知る関係者への聞き取り調査など、次年度に進められるよう計画しています。

○炭山(やま)の記憶

木造校舎の改修工事があり、この夏はギャラリーから場所を変え、スタジオアルテにて「炭山の記憶」展を開催いたしました。2006年発行Arte通信から続く「炭山の記憶」の連載を34回までパネルで展示いたしました。自分たちの足跡を辿る展覧会にもなり、これまで人の縁に恵まれ今に至っていることを強く感じました。アルテの盆踊りも、不安定な天気

の中8月13日に開催いたしました。直前、そして終わった後にも雨という天気の中、浴衣で多くの方に参加していただけたことで地域に受け入れられている催しであることを誇りに思います。この日を彩ったキャンドルも、その制作に今年も多くの皆さんのご協力をいただきました。



アルテピアッツァ美唄を未来へつなぐ

○アルテ市民ポポロ活動

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄を未来へ繋ぐ様々な活動しております。そのひとつが、イタリア語で「市民」を意味し、アルテピアッツァ美唄を次世代へ繋いでいく思いを共通項としたコミュニティの「アルテ市民ポポロ」です。

アルテ市民ポポロが交流できる場として毎年ポポロサロンを開催しています。今年も昨年に引き続きオンラインでの開催に総勢約30名のアルテ市民ポポロが参加して時間を共有することが

出来ました。

年3回発行している「ポポロだより」ではアルテに関する活動を紹介したり、アルテ市民ポポロの方々からアルテの思い出などを綴っていただいたりしています。31号では数年ぶりにスタッフ紹介を掲載しました。アルテピアッツァで働くスタッフをより身近に感じていただけたら嬉しいです。



	アルテ市民 popolo	団体会員
内 容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。	
会員になると	●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在（いま）を知ることができます。 ●ポポロミーティングでは意見交換やポポロ同士の交流をすることができます。 ●「ここを彫る授業」を1000円割引（継続参加は200円割引）でうけられます。 ●不定期開催の「安田侃の『ここを彫る授業』」のお知らせが届きます。	
金 額	●市民会費 ポポロ 3,000円 コポポロ（中学生以下） 500円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。	●団体会費 団体会員 一口 30,000円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。
●団体会員 アーキサイトメビウス株式会社 有限会社東オートセンター いとう写真 株式会社カンディハウス 株式会社カンディハウス札幌 株式会社岸本組 学校法人光塩学園 札幌アルト株式会社 札幌通運株式会社 主治医のような社会保険労務士法人 オフィスオカモト 空知商工信用組合 玉田産業株式会社 宗教法人長延寺 医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック ノーサイド・ウィングホールディングス株式会社 東戸公認会計士事務所 一般社団法人美唄市医師会 美唄市市議会議員会 株式会社美唄自動車学校 美唄市農業協同組合 広瀬建設工業株式会社 北星学園大学 北海道クリーン・システム株式会社 村松法律事務所 メガネの三愛 山口物流株式会社 株式会社雪屋媚山商店 税理士法人TACS 有限会社TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 他1社 (2024年3月31日現在)		

○書籍・グッズ

アルテピアッツァ美唄の30周年を記念して、2023年春に制作した「誰もが心を広げられる芸術広場」は200冊近くご購入いただきました。多くの方に手に取っていただくことができ、嬉しく思います。5月には、オーガニックコットン素材のTシャツ「妙夢」を新発売し、Tシャツ部門では一番の人気となりました。



○カフェアルテの運営

新型コロナウイルス5類引き下げに伴い店内はパーテーションを全て外し以前のカフェの様子に戻りました。

メニューでは美唄の加工場で処理された鹿肉を使ったパニーノはクセもなく初めて食べるお客様にも好評で売り上げを伸ばしています。

また美唄産ハーブを使ったハーブティーはジャーマンカモミールに続き新たにオリジナルブレンドも開発しました。店内での提供だけでなくお土産用としても購入していただけるよう店頭販売も行っています。地元食材を使った商品を増やし、よりお客様に喜んでいただける商品を揃えていきたいと考えています。



(単位:円)

活動計算書

(2023年4月1日から
2024年3月31日まで)

科目	金額		
I. 経常収益			
1. 受取会費			
ポポロ市民会費収益	1,500,000		
コポポロ市民会費収益	5,500		
会員会費収益	140,000		
団体会費収益	930,000	2,575,500	
2. 受取寄附金			
募金箱寄附	1,411,085		
寄附金	1,775,984		
こだま基金寄附	214,000		
アルテ文庫寄附	0	3,401,069	
3. 事業収益			
指定管理者事業収益	28,366,665		
旧栄幼稚園除雪等委託事業収益	1,313,400		
工房事業収益	1,009,960		
広報事業収益	188,480		
炭山の記憶事業収益	23,450		
喫茶事業収益	9,414,590		
販売事業収益	4,445,640		
連携事業収益	6,032,871		
アルテ市民popolo事業収益	15,200		
調査研究事業収益	106,840	50,917,096	
4. その他収益			
受取利息	219		
雑収入	22,000	22,219	
経常収益計			56,915,884
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費	25,590,246		
(2)その他経費	25,280,248		
事業費計		50,870,494	
2. 管理費			
(1)人件費	375,307		
(2)その他経費	3,112,980		
管理費計		3,488,287	
経常費用計			54,358,781
税引前当期経常増減額			2,557,103
法人税等			80,000
当期正味財産増減額			2,497,103
前期繰越正味財産額			25,622,031
次期繰越正味財産額			28,119,134

事業費・管理費 内訳

科目	指定管理	こだま基金	工房事業	アルテ文庫	旧栄委託	広報	調査研究	炭山の記憶	喫茶	販売	連携事業	アルテ市民	管理費	合計
(1) 人件費														
給与手当	14,510,178		927,276		1,205,765	618,189		302,736	4,323,564	222,845	555,552		302,738	22,968,843
福利厚生費	2,109,734		2,782		350,875	1,858		907	445,387	666	11,932		72,569	2,996,710
人件費計	16,619,912	0	930,058	0	1,556,640	620,047	0	303,643	4,768,951	223,511	567,484	0	375,307	25,965,553
(2) その他経費														
売上原価								10,200	2,860,601	2,068,847				4,929,448
業務委託費	3,840,008	104,500					50,000				1,508,200		1,980,209	7,482,917
諸謝金			15,837			17,100		28,274	10,900		249,178	9,800	35,700	366,789
印刷製本費	325,000		2,320			192,120		35,360		5,580	1,189,710	277,950	51,920	2,079,960
旅費交通費	49,780					3,420	810,365			12,520	213,790		95,900	1,185,775
通信費	309,483	8,400	1,344			16,948		288	148,706	56,312	21,878	272,157	75,289	910,805
消耗品費	491,127	43,353	32,964	110		49,429	7,408	26,260	422,092	61,699	41,428	1,738	244,927	1,422,535
材料費			125,606									3,774		129,380
修繕費	258,295								12,122		38,500			308,917
水道光熱費	5,501,900								158,350				16,657	5,676,907
地代家賃									120,000				40,000	160,000
賃借料	17,600							11,000			36,190			64,790
保険料	22,720		2,000						2,700			1,000	307,500	335,920
諸会費	3,000								4,000				32,000	39,000
研修費							12,100							12,100
慶弔費														0
租税公課	1,300,300		45,700		59,500	17,800		300	322,300	88,200	272,000	600	850	2,107,550
支払手数料	40,000												99,000	139,000
新聞図書費														0
広告宣伝費	5,700	7,376						21,232	900	38,140				73,348
支払報酬														0
会議費													5,120	5,120
交際費	560					1,000	19,741						65,000	86,301
減価償却費	226,040					226,800		22,000					29,186	504,026
雑費	550	12,250	1,430				110	4,620	143,114	102,623	2,090	61,931	33,722	362,440
その他経費計	12,392,063	175,879	227,201	110	59,500	524,617	899,724	159,534	4,205,785	2,433,921	3,572,964	628,950	3,112,980	28,393,228
費用計	29,011,975	175,879	1,157,259	110	1,616,140	1,144,664	899,724	463,177	8,974,736	2,657,432	4,140,448	628,950	3,488,287	54,358,781

※貸借対照表はホームページでご覧になれます。印刷したものが必要な方は事務局までご連絡ください。

基本理念

誰もがこころを広げられる芸術広場

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄は、今を生きる全ての人が、無心に、自由に、思い思いの時間を過ごすための芸術広場です。

炭鉱で栄え、衰退していったこの土地の記憶、人々の思いを、場のエネルギーとして受け止める空間は、過去、現在、未来という時の流れの中で、静かに佇み続けています。そうしたかけがえのない空間となることを願いながら、美唄市と美唄市出身の彫刻家・安田侃によってこの美術館は作られました。

広がる景色の中に置かれた彫刻が、自然と一体となって息づくこの空間は、見る人自身のこころを映し、自分との対話ができる場所です。この空間が、この地に変わりなく在り続けることで、誰もが安心して帰れる「こころのふるさと」として、未来に繋いでいくため、以下の理念を掲げます。

- ・自然と人と芸術の新しいあり方を模索し、提案し続けます。
- ・地域と人、人と人をつなぐ交流の機会を作り、交流の場となります。
- ・地域の文化、芸術、学術の振興に貢献します。
- ・土地の記憶を受けつぎ、読み解きながら、次の世代へ伝えます。
- ・彫刻家・安田侃の研究を通して、その彫刻の精神を理解し、後世に伝えます。

※この基本理念は、平成28年度より始められた「美術館会議」において、この空間の目指すべき姿を言葉にするため、美唄市教育委員会とNPO法人アルテピアッツァびばいが協力し、まとめたものです。



ホームページ



オンラインストア



Facebook



Instagram

2023(令和5)年度
認定NPO法人アルテピアッツァびばい活動報告書
発行：認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
発行日：2024年5月30日
表紙写真：小川重雄

● 開館時間

水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料(任意によるご寄附をお願いしています)

● 閉館日

毎週火曜日・祝日の翌日
(日曜日は除く)
12月31日～1月3日

● 交通

電車：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より80分(札幌で乗り換え)。
美唄駅下車、市民バス東線「アルテピアッツァ美唄」
行き乗車。(東明通り経由32分、旭通り経由19分)
車：道央自動車道利用で
札幌JCTより35分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

● クリーン会(4月下旬から10月まで※雨天中止)

日時：毎週土曜日8時30分～10時(10月は休館日以外の毎日)
集合：アトスペース(旧体育館)前

● 定時ガイドツアー(4月下旬から11月上旬)

アルテピアッツァ美唄をスタッフがご案内します。
日時：毎週土曜日10時～(約30分) 無料
集合：アトスペース(旧体育館)前

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>

